科日基的	楚情報							
科目番号	/C11311X	0365		科目区分 一般 / 点				
授業形態		授業		単位の種別と単位				
開設学科		社会基盤	盤工学科	対象学年	3			
開設期		前期		週時間数	2			
教科書/教	· 対 材	Time Z	ones 3					
担当教員		デイヴィ	ィッド タケ					
到達目標	票							
2) To un 3) To ac	derstand a quire Engli	lemic litera and discuss sh skills us	cy skills global and modern topics eful for academic success					
ルーブ!	ノック		田相的 おひきし ベル の日ウ		ベルの目安 未到達レベルの目安			
			理想的な到達レベルの目安 Students are able to understand	標準的な到達レベ	かり自女 木到達り、ひり自女 able to understand Students are not able to			
評価項目1			and reuse all the expressions learned in class.	and reuse most expressions lear	of the	understand and reuse any of the expressions learned in class		
評価項目	2		Students are able to analyze and reflects upon international issues.	Students are so analyze and reflinternational iss	mewhat able to ects upon	Students are not able to analyz and reflects upon international issues.		
評価項目:	3		Students successfully acquired the skills useful for academic	Students partial skills useful for a	ly acquired the	Students did not acquire the skills useful for academic		
 学科の3]]達日標1	 頁目との関	success 图名	success		success		
	教育目標 E	<u> да С</u>	<u></u>					
教育方法	 去等							
概要	 \ \ 3	Using r discove improv	neaningful and authentic content, sture some interesting topics that are esset their communication skills in Englis	udents will becom sential tools to ui h thanks to cons	ne active speaker nderstand the wo cant interaction a	rs and listeners. They will orld we live in. Students will and stimulation.		
授業の進	め方・方法	2.You r	if you feel shy, please try and speak must always bring the textbook and a ents cannot use their cellphones in cla ree to come to my office to practice dents study well in class, there will b	an electronic or p ass.	aper dictionary.	ing you want.		
注意点								
授業計画	——							
		週	授業内容	j	週ごとの到達目標			
前期		1週	授業の説明 Unit 1 A	<u>-</u>	・授業の進め方が理解できる。 ・数や数学に関する英語を理解でき,工業英検3級程の語彙が理解できる。 ・主語と述語に注意を払いながら、英文を読み進め、 その内容をとらえることができる。 ・主語と述語に注意を払いながら、英文を読み進め、 その内容をとらえることができる。			
	1stQ	2週	Unit 1 B	F	Be able to describe oneself and others using personality adjectives			
		3週	Unit 2		Be able to create relative clauses. Be able to talk about extreme jobs.			
		4週	Unit 3		Be able to talk about imperatives and orders			
		5週	Unit 4	I I	e able to review adjectives and adverbs. e able to identify stressed and unstressed owels.			
		6週	Unit 5	-	Be able to use various tenses to express future. Review for the test			
		7週	Test review					
		8週	中間試験					
		9週	試験答案返却	l	Understand where students made mistakes.			
		10週	Unit 6	ı	Be able to discuss global warming and how to			
	2ndQ	11週	Unit 7	-	To be able to describe events in the past. To be able to understand syllable stress			
		12週	Unit 8	-	To be able to talk about your bucket list and places you would like to visit.			
		13週	Unit 9 A	-	To be able to understand the expression "used to properly. To understand what makes a fad			
		14週	Unit 9 B	-	To understand how to create meaningful short paragraphs			
	1	15週	前期期末試験		paragraphs			
		16週	試験答案返却		Understand where students made mistakes.			
		1	1					
 モデルゲ	コアカリニ	キュラムの	- D学習内容と到達目標					

試験 発表 相互評価 態度 E-learning 課題 合計 総合評価割合 60 20 0 20 0 100										
英語の発音記号を見て、発音できる。					英語のつづりと音。	との関係を理解でき	きる。		2	
サンマンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。 2					英語の標準的な発音	音を聴き、音を模倣	放しながら発声でき	る。	2	
議・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読すること 2					英語の発音記号を見	見て、発音できる。			=	
ができる。 文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読する。 文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読する。 文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。 2 中学で問題の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語 2 担保の語彙を新たに音得する。 2 中学校で問題の文法事項や構文を定着させる。 2 高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 2 習得する。 1 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき 2 ウとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、力の基礎の 2 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、力の基礎の記念とができる。 2 内国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 2 毎分110話程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握しの語程度の速度である。 2 用質にきる。 2 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 2 用分110語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を担 2 担難できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 評価割合				基礎となる	リエゾンなど、語る	と語の連結による音	音変化を認識できる) 。	2	
基礎となる ことができる。 全 文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。 中学で限習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語 2 日分の専門に関する基本的な話彙を習得する。 中学校で限習の大学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 2 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2 2 2 2 2 2 2 2 2						る基本的な強勢を正	Eしく理解し、音説	すること	2	
大文・社会 中学で配置の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語 2 2 2 2 2 2 2 2 2								2		
程度の誘奏を新たに習得する。					文における基本的な	3区切りを理解し、	音読することがて	:ea。	2	
中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 2								2		
					自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。			2		
基礎的能力					中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。			2		
基礎的能力 人文・社会 科学・社会 科学・社会 科学・社会 科学・社会 科学・社会 科学・社会 科学・社会 科学・技術 を語 を語 を語 を語 を語 を語 を語 を語 を語 を記 を読み取ることができる。 田常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 ように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なこととでついて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なこととでついて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 2 評価割合 該験 発表 相互評価 総度 と - learning と - learning 課題 合計 総合評価割合 60 20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 習得する。			2		
日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。 中常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 毎分120語程度の速度で下場な物語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 2 評価割合 試験	基礎的能力	人文・社会 科学	英語		上りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで			2		
大うに音読ができる。		113			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。			2		
英語運用能力の基礎固め				力の基礎固				2		
おの基礎固め								2		
日本語					日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。			2		
握できる。								2		
できる。								2		
把握できる。 担握できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。 評価割合 試験 発表 相互評価 態度 E-learning 課題 合計 総合評価割合 60 20 0 0 20 0 100 基礎的能力 60 20 0 0 20 0 100 専門的能力 0 0 0 0 0 0 0								2		
評価割合 200語程度の簡単な文章を書くことができる。 2 総合評価割合 60 20 相互評価 態度 E-learning 課題 合計 総合評価割合 60 20 0 0 20 0 100 基礎的能力 60 20 0 0 20 0 100 専門的能力 0 0 0 0 0 0 0								2		
試験 発表 相互評価 態度 E-learning 課題 合計 総合評価割合 60 20 0 0 20 0 100 基礎的能力 60 20 0 0 20 0 100 専門的能力 0 0 0 0 0 0 0					自分や身近なことが 200語程度の簡単な	及び自分の専門に関 な文章を書くことか	関する情報や考えに ができる。	ついて、	2	
総合評価割合 60 20 0 0 20 0 100 基礎的能力 60 20 0 0 20 0 100 専門的能力 0 0 0 0 0 0 0	評価割合									
基礎的能力 60 20 0 0 20 0 100 専門的能力 0 0 0 0 0 0 0		試験		表	相互評価	態度	E-learning	課題	合計	
専門的能力 0 0 0 0 0 0 0	総合評価割合	î 60	2	0	0	0	20	0	100	
	基礎的能力	60	2	0	0	0	20	0	100	
<u>分野横断的能力</u> 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	専門的能力	0	0		0	0	0	0	0	
	分野横断的能	力 0	0		0	0	0	0	0	